

10609その他のパルプ・紙・紙加工品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	社内にて、一人で裁断機の製品の型替え作業中に、電源スイッチを切って作業をするところを切り忘れていたため、うっかりフットスイッチに当たった拍子に機械が動き、胸に当たり負傷した。	68	6	169	10 ~ 29
2	2017	12	15~16	被災者は、ワンタッチグルア（段ボールの糊付けおよび折り込み・形成する機械）にて、ベルトコンベアより流れてきた段ボールの検品・積付け作業を行っていたが、段ボールケースがコンベアベルトと検品テーブルの間に噛み込まれたため、その段ボールケースを取り除こうと咄嗟に手を出したところ、左手を引き込まれて被災した。	43	7	169	50 ~ 99
3	2017	11	0~1	工場1F、2号プリンターにて製品加工清掃作業終了後、機械から導布（ライナー）を外す作業を行っていた。繰り出し側で導布を切った後、巻き取り側に移動し巻き取りを開始した。その際、導布が弛まないように導布の端部を押さえに繰り出し側へ走って移動した。勢い余り右足が滑り転倒し、その際に残った左足に体重が掛かり足首を骨折した。（全治6週間）	62	2	417	50 ~ 99
4	2017	11	10~11	廃棄物倉庫内で転送用のカゴ車に*積載物が崩れないように、カゴ車の周囲にストレッチフィルムを巻く作業をしていて下方を中腰になって巻いていたところ腰を痛めた。	57	19	362	1~ 9
				Aが運転するフォークリフトに被災者が近より書類の受け渡し				

5	2017	10	9～ 10	<p>を行った。書類を渡したAは、まだ被災者がフォークリフトの近くにいることを確認せずにフォークリフトを右に急旋回させた。その時、フォークリフトの後輪が被災者の右足にのり上げ負傷した。</p>	22	6	222	100 ～ 299
6	2017	10	8～9	<p>取引先従業員が2番積込場でトラックより製品をリフトで降ろす作業をしている時、通常より荷量が多かったため、本来は引き取り用ラック横へ置く所、書庫の前へ臨時的に1p/t置いた。2p/t日を①へ重ねるため積込場で方向転換をして?の位置より前進した。左路面に穴があるため、リフトの爪を30～50cm上げ、喫煙室を過ぎた辺りで右前にある銀ラックと製品が接触しないよう気にしながら前進した所で被災労働者と接触したが気付かず、更に前進した。1m程先で倒れていた被災労働者の右すねと製品を載せたパレットが接触した所で違和感を覚え、リフトをバックさせてエンジンをかけたまま降車した。（被災労働者は給水のため、休憩室へ向かう途中だった。）休憩室前を通過してリフト前方を確認し、初めて災害の発生を知った。</p>	72	6	222	30 ～ 49
7	2017	10	11～ 12	<p>当社工場内に於いて、紙管製作機を使用しているスパイラル巻紙管の製造作業中、材料である紙管原紙の内、一番下部分のものが無くなった為、機械が停止した後、その原紙を専用ロールに補充しようとした際、誤って、その専用ロール上部にある接着剤塗布ロール機（稼働中）の歯車とチェーンとの間に左手を挟んでしまい負傷した。</p>	27	7	163	10 ～ 29
8	2017	10	13～ 14	<p>印刷機械に段ボールシートを給紙する際シートが引っ掛かったため、上側よりシートを押しつけた。シートを送り出すガイド（キッカー）のピストン状のつめに指をまきこまれて負傷した。</p>	45	7	169	10 ～ 29
9	2017	10	15～	<p>フォークリフトにてピッキング作業中、最上段ケースを下ろす為、フォークリフトの爪を20cm程上げ、その上に乗り作業。</p>	63	1	222	—

			16	最上段のケースを持ち、爪から降りる際にバランスを崩し安全靴が脱げ、素足で着地した際に右足かかとを骨折した。				
10	2017	9	14～ 15	当社工場内において、25tプレス機でパッキン打抜作業をするため、金型のセット中に合わせて、製品のエア－排出状況の確認をしていて排出不具合を修正しているときに、誤ってスイッチに身体が触れてしまい、排出不具合を修正していた右手薬指爪辺りを作動したプレスで約2cmはさんだ。	54	7	154	10 ～ 29
11	2017	9	8～9	合紙工場内において、糊ロールに異物が付着していた為、自分で寸動スイッチを操作しながら、異物を取り除く作業をしている時に、右手で布を持ち左手で寸動送りをしていて、少しスイッチを長く押ししてしまった為、手が巻き込まれてしまい、右手挫滅創となってしまった。（通常では、止まって拭く作業が基本）	41	7	163	100 ～ 299
12	2017	9	14～ 15	工場内の養生シート製造機で製品の巻き取り作業を行っていたが、製品の巻き始めに不具合が発生したため、機械を止めるために停止ボタンを押そうとした際、誤って駆動ベルトに右手を掛けてしまい、右手小指と薬指を負傷した。	56	7	163	10 ～ 29
13	2017	8	11～ 12	工場内にて、作業が終了し、作業台に置いてあるプラスチック板（900mm×1800mm、重さ10kg位）を片付けるため、同僚が両手で立てて持ち、置場に移動中、近くにあった結束機が邪魔になり置けなかったため、一旦後退したとき、被災者が後横にいたのに気づかず、プラスチック板角が左足に当たり負傷した。	42	3	529	10 ～ 29
14	2017	8	13～ 14	当社構内、倉庫前に駐車したトラック荷台の奥側よりパレットを取り出す際に、パレットに括ったロープが外れ、勢い余って転倒した。受け身をした左腕から左手首にかけて負傷した。当日は、雨天のためアスファルトが濡れており、滑り易くなっていた。	40	2	221	10 ～ 29
				被災者は通常通り、貼合業務についた。AF生産から、WF生産				

15	2017	7	13~14	<p>に入るため、BF片段をダブルフェーサーに差し入れる作業に入った。AFの運転速度を手動で減速した後A段のペーパーガイドを合わせ、BF片段を投入しようとしたが、準備していたBF片段の先端が濡れていることに気づき、そのままでは、投入できないので先端を折り巻き、その部分を案内板上で左手で押さえ右手で、片段の手前端を摘み両手でBF片段をAF片段とグルーライナーの間に差し込んだ。その時送り過ぎてしまった左手がダブルフェーサー入口ロールと案内板の隙間に噛み込まれた。</p>	45	11	163	30 ~ 49
16	2017	7	16~17	<p>第一工場貼合部門に於いて、作業終了後、貼合機を清掃する前に、糊のくみ上げポンプを稼働させたところ、ポンプのプーリーの上に水道ホースがあることに気付いたため、そのホースを取り除こうとした際左手をモーター側のプーリーとVベルトの間に入れたために左手薬指先を骨折した。</p>	18	7	121	50 ~ 99
17	2017	7	12~13	<p>当該事業場内にて、ダルトンのミキサーに入る澱粉トランジ先のホース（ミキサー上部）が外れていたため補修作業を行った後、降りるのを手伝おうとした補助者の手を置き場とし足を置こうとした際、バランスを崩し、転倒したため負傷したものである。</p>	30	1	391	30 ~ 49
18	2017	7	13~14	<p>民間の建屋解体工事現場で、大型土のうをバックホウ0.25?（回転フォーク付）にて吊り上げようと操縦中に、ヒモがはずれそうになったので、補助作業をしていた被災者が回転フォーク内に右手を入れてしまい右手全体を挟んでしまった。</p>	44	19	416	30 ~ 49
19	2017	7	11~12	<p>古紙のダンボールを大型のシュレッダーで裁断する作業を行っていた。パレットに積まれているダンボールを手作業でシュレッダーに投入する際、PPバンドを切り崩れてきたダンボールを避けた時にシュレッダーのテーブルに左大腿があたり打撲した。翌日になっても痛みがひかず早退し、整形外科医師より左大腿筋挫傷と診断される。</p>	43	3	611	100 ~ 299

20	2017	6	13~ 14	印版刷機の職場にて、材料の積み込み作業中にゴミを取ろうとして、機械が動作していたため手が巻き込まれた。	22	7	166	10 ~ 29
21	2017	6	14~ 15	弊社工場内にて、段ボールケースのグルー加工の作業中に、グルー機の駆動軸を上送りロールに固定する為に貼っていたガムテープを剥がそうとして、右手でテープを排出側から取り始めた。その時、機械を停止させずに行った為、軍手をした手が駆動軸の回転に引っ張られ、右腕が肘まで軸に巻き込まれてしまった。	47	7	169	10 ~ 29
22	2017	6	8~9	工場内にて、トムソン機械に付属する作業場の階段を上ろうとして足を踏み外し、左腕の肘を床に打ちつけ、左肘頭を骨折した。	59	2	413	50 ~ 99
23	2017	4	15~ 16	運転中のコンベアベルトとロールの間に誤って左手薬指を入れた。	18	7	224	30 ~ 49
24	2017	4	13~ 14	本社工場内において、丸鋸式ダンボールカット機を使用中、積層ダンボール製品の不具合を発見し、それを直そうとして左手を出した所、鋸に触れ、左手中指、薬指の先端を負傷した。	23	8	131	30 ~ 49
25	2017	3	17~18	弊社が運営している古紙回収の回収ボックスの設置現場で、回収ボックスのキャッチ部分の塗装補修をしようとキャッチを外したとき、手に握っていた塗装用のペンを落としてしまい、屈んで拾おうとした瞬間にボックスのアオリ部分が落下し、背中を強打した。	35	7	418	10 ~ 29
26	2017	3	12~13	当社従業員は当社工場内において、熟成型プレス機を使用し、商品である海苔カップを作成していた。同プレス機が海苔カップをプレスする際、金型から海苔カップが飛び出していたので金型に戻そうとプレス機内に右手を入れていしまい、同プレス機に右手中指をはさまれてしまった。通常安全センサーが起動	35	7	169	10 ~

				しプレス機が止まるのだが、センサーエリア外から手を入れてしまったためプレス機は止まらなかった。その際、右手中指の腱を痛めると同時に火傷を負い、救急搬送された。				29
27	2017	2	15~16	工場内で、ダンボール印刷機械を掃除中に空運転で回しインクを洗浄したところ、回転するロールに指を挟まれた。社内取り決めとしてロール洗浄は、回転させながらではなく、拭き上げ→寸動→停止の手順を繰り返し行う事となっているが、効率を求め、その手順を怠ったのが原因となる。	52	7	166	10 ~ 29
28	2017	2	17~18	当社第一工場紙管製造現場で、NC切断機の切芯交換作業をしている時に、2人（別の労働者）で機械から切芯を外してマンドレル保管棚に運ぶ作業をしている際に、フォークリフトのつめ部分があることを目視しているにもかかわらず実際との感覚のずれから、つめ部分に躓きバランスを崩し、マンドレル保管棚に切芯をかついだままぶつかり右母指基節骨・右手背・右肩・右鎖骨を負傷した。	59	3	222	10 ~ 29
29	2017	2	9~10	リングカッター機にて紙管切断中に、手袋（皮手）に紙管の端部に引っ掛かり手袋ごと丸刃に巻き込まれて、左手親指と人差し指の付け根を切創した。	49	7	169	10 ~ 29
30	2017	2	14~15	工場構内において、ロータリーダイカッターにて操業中、トラブル処理中排出コンベアにて非常停止スイッチを押しておらず、安全装置のコネクタが外れており、エリアセンサーが認識されないようになっていたため、頭部を挟まれてしまった。	32	7	169	30 ~ 49
31	2017	1	10~11	コルゲーターで、バック原紙切り替えの際、ミルロールスタンドに右腕を乗せた状態で上限まで上げていた所、スプライサーユニットを作動させた為に、ミルロールアーム部分とスプライサーユニットの間に右腕を挟んでしまい、右腕を裂傷した。	48	7	169	10 ~ 29

32	2017	1	16～ 17	新たに大人用紙オムツの製造機が導入され、段ボールケーサー（段ボール自動箱詰め機）を固定させる為に振動ドリルアンカーボルトの穴開け作業をしていたところ、プレートが噛んでしまった為に逆回転にした際に振動ドリルの本体が回ってしまい、右手小指、5指の付け根を骨折した。	26	7	169	50 ～ 99
33	2016	12	11～ 12	工場の荷物搬送用コンベアを移動した際に、ローラーから異音がしていた。そのため、応急処置としてローラーに潤滑油をさし、改善されるか状況を確認していた。その後、直接ローラーを押さえて音の発生源を確認しようとした時に、駆動ローラー手前にあるベルトの張りを付けるためのローラーに手が触れてしまい、そのままベルトに手を持っていかれ、ローラーとベルトの間に右手を巻き込まれ負傷した。	37	7	121	100 ～ 299
34	2016	12	16～ 17	機械の改造後の試運転中、排出された製品を排出コンベアより取ろうとした際に、テンションロールと搬送ベルトに右手を挟まれた。	20	7	224	10 ～ 29
35	2016	12	10～ 11	調べ物を一人で行っていたが、調べた製品は空気を含み張った状態だった。調整済みの製品を箱詰めし、クラフトテープで封緘しようとしたが、元々左手が痛く使えなかったので段ボールに入った製品を両足で挟みクラフトテープを貼った。作業後に左骨盤側に違和感を覚えたが、その後痛みがひどくなった。	24	19	921	100 ～ 299
36	2016	12	8～9	工場に於いて、紙管から紙を巻き取る機械の操作を行っていた。巻き取った紙に左手の手袋が挟まり、そのまま巻き取り機械に指を巻き込まれた。	49	7	169	30 ～ 49
37	2016	11	14～ 15	工場内で作業中、機械調整を行い作業スペースから後ろ向きで降りた際、踏み台があるものと思い込み降りたが、実際には踏み台が無く勢いよく降りてしまったため、右足首を挫いてしまった。	30	3	371	10 ～ 29
				事業所にて、実習生に切断機の稼働時における作業説明を行っ				

38	2016	11	12～ 13	<p>ていたところ、説明していることに夢中になってしまい、普段の生産時には立ち入ることができない安全柵の中に入ってしまった上、切断機が稼働していることを失念してしまい、身振り手振り説明する最中に、思わず手が切断機に触れてしまったため、負傷した。</p>	53	8	169	30 ～ 49
39	2016	10	5～6	<p>工場内のパルパー室で、積み上げているパルプの4段目を取る為に、隣の2段積みのパルプに右膝を掛けて上がろうとした際、前にあったホイストクレーンに付けているパルプ吊り用ジグに右手を掛けて体を引っ張った時、ジグのストッパーが外れ、体にジグの先端が当たり床に落下し負傷した。</p>	32	1	611	50 ～ 99
40	2016	10	10～ 11	<p>工場内で、商品が梱包されているダンボール箱を搬送用レールで移動させている際に、足元への注意が不足していた為に搬送用レールの継ぎ目に靴紐を引っかけてしまい、搬送用レールの上で前方へ向けて転倒して、咄嗟に手を突き、左手を負傷した。</p>	34	2	391	100 ～ 299
41	2016	10	8～9	<p>工場内において、トラック庫内の棚卸し作業中に、パレットを手押しした際に踏ん張った左足のふくらはぎを負傷した。</p>	49	19	379	30 ～ 49
42	2016	10	9～ 10	<p>紙管選別加工場において材料となる紙管を仕分ける為、切断機を使って適当な長さに切る作業中、切断機にセットされた紙管の回転に左手にはめていた手袋が巻き込まれ、手指を切ってしまった。</p>	50	7	169	10 ～ 29
43	2016	10	11～ 12	<p>工場に於て、トラック荷台の折りたたみ式カーゴ台車を荷下ろしする作業で、折りたたんであった台車底面がはずれて、後ろ向きになって作業していた被災者の右足ふくらはぎに底面が接触し負傷した。</p>	42	5	362	10 ～ 29
			9～	<p>工場内でウェットティッシュのボトルを検品しながら、流れているラインの上にボトルを並べていた。流れているところでボ</p>				1～

44	2016	8	10	トルが倒れているのに気がつき、ラインを停止しないで起こそうとして指をはさんだ。	51	7	224	9
45	2016	8	16～ 17	作業場で、古紙受入梱包作業中に、圧縮梱包機に開口部があり、番線にゆるみが生じたのを修正しようとして開口部から機械内部に腕を入れたところ、番線が腕にからまり、引きずり込まれて負傷した。	26	7	169	10 ～ 29
46	2016	8	9～ 10	工場内のローラーの上にある材料を製函機の方へ移動中、ローラーの上に乗ってしまい、足を取られてお尻を強く打ち負傷。	44	2	224	10 ～ 29
47	2016	7	8～9	工場内において、輪転平袋製造機の朝の定期始動点検中において、紙袋の差し込み板に、誤って左手の人差し指をはさまれて、負傷した。	40	8	169	30 ～ 49
48	2016	7	9～ 10	工場内にて二軸ターレット裁断機で裁断作業をしている際、回転している丸棒に手を出し巻き込まれ刃の部分で手のひらを裂傷した。	59	7	169	30 ～ 49
49	2016	6	18～ 19	フォークリフトの充電をしようとして、コンセントを差し込んだところ違和感を覚えて抜こうとしたら、コンセントのカバーだけ外れてショートして出火した。	32	13	222	50 ～ 99
50	2016	5	6～7	本人の不注意により新聞の束につまずき、膝を怪我した。	53	2	611	1～ 9
51	2016	4	17～ 18	包装工場で、粘着テープのログロールを切断機で所定幅にカットする作業中、切断されたテープがコンベア上で縦になり、転がる状態でシュート近くから出てこないテープを発見した為、慌ててコンベアの奥に手を入れて取ろうとした際、切断シュートが前に出てきたためにシュートとシリンダーとの間に指を挟みとっさに手を引いた際、装置の角で裂傷した。	47	7	169	100 ～ 299
				製袋機の運転中、床に油がこぼれていたのに気付かず踏んでし				30

52	2016	4	10～ 11	まい、靴底に油が付着しているのに気付かず機械カバーの上の のり、滑って部品に胸をぶつけた。	34	2	169	～ 49
53	2016	4	15～ 16	工場内に於て、紙袋を製袋機で製袋作業中、不良品の紙袋が出 た為これをゴミ袋へ投げ入れようとした際、紙袋が機械の チェーンの部分に引っかかってしまい紙袋を取ろうととっさに 左手が出てしまって、左手指を負傷した。	45	7	121	10 ～ 29
54	2016	3	9～ 10	ゴムローラーに付着した印字のインクを除去する作業中に、寸 動操作を間違えて、右手人差し指をローラーに巻き込まれ怪我 をした。	38	7	163	10 ～ 29
55	2016	2	11～ 12	作業場にて作業材料を探す為フォークリフトで半製品置き場へ 移動し、停止したがその際フォークリフトの爪が完全に床面に 下げきらない状態で降車し、作業材料を探していた。その後棚 を見ながら、横歩きで半製品置き場から出てきた際、停止して いたフォークリフトの爪に右足を引っ掛けて転倒した。転倒の 際、右手を床面に着いて右手首を被災した。	58	2	222	50 ～ 99
56	2016	2	11～ 12	工場北面側の窓、及び、工場隣接の車庫の屋根で工場窓への落 雪を防ぐ為の点検作業後、隣接車庫屋根より工場底部分に足を 掛け、雪山に下りようとしたところ底部分より足を滑らせ2m強 下の地面に落下した。	65	1	415	10 ～ 29
57	2016	1	8～9	パッカー車にダンボール（古紙）の積み込みをしていた時、左 手（軍手を着用）がダンボールにはさまり引っかかった為、右 手でダンボール（古紙）をかきわけた際にはさまれ負傷した。	40	7	221	10 ～ 29
58	2016	1	15～ 16	原紙払い出場で原紙を押している時、クランプリフトがバック してきて、クランプリフト作業者は被災者に気づかなかった （死角に入った）ため、左足の先を踏んでしまった。	47	7	222	10 ～ 29
59	2016	1	17～ 18	作業後に、ローラーを回し、掃除をしていたところを、指を挟 んでしまった。	60	7	163	1～ 9

74	2015	9	9～ 10	圧縮梱包機の点検台で古紙を取り除く作業中、誤って高さ約4メートルの場所から墜落した。	79	1	416	～ 29
75	2015	8	16～ 17	工場内にて紙の巻き上げ作業中に、巻き上げ中の紙が途中で切れてしまい修復の為右手で紙ロールを引っ張り左手で抑えながら繋ぐ作業の際に、右手で引っ張った紙ロールが思った以上に動かず手間取った間に左手への注意が行かず、巻き上げる紙管に流される形で左手がゴムベルトに巻き込まれて負傷した。	44	7	169	30 ～ 49
76	2015	8	15～ 16	工場1Fグルア仕上げ作業場にて、グルア作業者との打合せ後、事務所に戻ろうとしたところ、荷物が積まれているパレットにつまずいてしまい、前方に転倒し左膝を打ちつけて負傷した。	53	2	417	30 ～ 49
77	2015	8	15～ 16	配達が終わる倉庫にて明日の荷積みのため駐車したところ、気分がすぐれず運転席にうつぶせ状態となった。	32	11	715	30 ～ 49
78	2015	7	10～ 11	工場内で巻取り包装作業中、損紙の巻取（幅9cm重さ80kg）を移動する際、誤って倒れてしまい、避けきれず左足に当たってしまった。	68	5	611	10 ～ 29
79	2015	7	9～ 10	断裁機で紙を裁断中、刃が下りる前の段階で紙押さえに親指を挟まれ慌てた為、無理矢理指を引き抜いた為、爪を負傷してしまった。	30	8	169	10 ～ 29
80	2015	6	22～ 23	紙カップ等の製造現場にて成型機を操作稼働中、操作用ステップ台（2段作り）から降りる際、バランスをくずし床面に右手をついて倒れ、右手首部分を骨折した。	60	1	413	1～ 9
81	2015	6	11～ 12	プレスした段ボールを乗せるペーラーが、地下から一階に上がった時に横にスライドさせるローラーに足をすくわれ、右足を落として抜けず段ボールのペーラーが出てきてはさまれた。	52	7	224	1～ 9
				工場内においてダンボールの印刷作業開始時に試し刷りをしたところ汚れがあったため、印刷機を止めずに、1番奥を拭こうと				

82	2015	6	8～9	したため、2つ目の大きな刃（厚6mmダンボールに切り込みを入れるもの）に挟まれ左手の親指つけ根から小指のつけ根までを負傷した。	39	7	169	1～ 9
83	2015	5	8～9	工場内の印刷室で、朝礼に遅刻しないよう走って転倒し、印刷機にセットする為、台車に準備してあった刃物（インクを削ぎ落とす為の部品）に手をついて左手小指を負傷した。	19	8	364	30 ～ 49
84	2015	5	15～ 16	ダンボール加工製造機械の糊付けロール部で、糊ロール清掃中に左手中指を巻き込み負傷した。	40	7	163	30 ～ 49
85	2015	5	8～9	段ボールステッチャーに付着していた油を雑巾で取り除こうとしていた。電源を切って行うべき作業であったが、電源を切る事なく作業にあたり、誤って作動スイッチであるフットペダルを踏んでしまい、ステッチャーが作動して右手中指を挟んだ。	23	7	169	30 ～ 49
86	2015	5	14～ 15	内径通し成形から外径通し成形に段替する時に、内径通し整形用のストッパーを最後部に下げるのを怠ったため、外径通し整形時にコアがストッパーに当たり、さらにコアを押しコンプが押し続けたためコアが折れ飛んでしまった。その際、被災者は整形金型より出てくるコアを見ていたため、気づくのが遅れてコアが顔に当たり受傷した。	42	4	169	50 ～ 99
87	2015	5	15～ 16	観光案内看板（高さ2m×横2m）の横に立ちダンプの後退誘導をしていたところ、ダンプをぎりぎりまで寄せすぎてしまったことと、停止の合図が遅かったため立看板にダンプの左後方が接触しそうになり、とっさに右手を出し接触を防ごうとしたためダンプ左後方と立看板の間に右手のひらが挟まれ受傷した。	33	7	221	30 ～ 49
88	2015	5	8～9	清掃作業（軍手着用）をしている時に、熱版の汚れに気付きカンバスが回転しているにも関わらずウエスにて拭き取ろうとしてロールに巻き込まれ熱傷をしてしまった。	29	7	163	100 ～ 299

89	2015	4	11~ 12	スリッター機の設定替えの際に下刃ローラーの隙間に原紙端の耳が噛み込まないようにして、別紙を右足で寸動にて巻き付けていた所下刃ローラーに左手を添えてしまい上ローラーと下刃ローラーの僅かな隙間に指3本が入ってしまい、骨折してしまった。	37	8	169	30 ~ 49
90	2015	4	12~ 13	工場内で、機械の手直しをしている時製品を切るために端に取り付けてあったカミソリに気付かず、右手の甲を切ってしまった。	52	8	169	1~ 9
91	2015	4	16~ 17	型抜き機を使い、同僚と二人組で作業中、本来三回抜いたら原料（紙）を機械の中を通し、相手に渡すが、二回目の所で、抜くのを失敗し、もう一度三回目から抜き始めようとし、機械とのタイミングが合わず、相手に渡すはずの所で、誤って左手指をはさんでしまい負傷した。	54	7	169	1~ 9
92	2015	3	19~ 20	製品ロス袋交換作業の時、ロス袋を結び、運ぼうとし背中が部品台車に当たり、当たった弾みで車輪が外れ、台車が傾き部品が落下し左足に接触した。	23	4	611	50 ~ 99
93	2015	3	10~ 11	印刷に汚れている箇所を認め、ゴム版に付いているゴミをウエスで取ろうと左手に持ち、低速で回っているゴム版にウエスを当てた。ローラー（ゴム版側）とセラミックローラーにウエスが巻き込まれた際に親指と人差し指も巻き込まれ、出血を伴うケガとなった。	20	7	166	100 ~ 299
94	2015	3	11~ 12	工場内の紙袋製造過程において製品の流れるベルトコンベアの下に幅50cm深さ30cmの切断屑の溜場があり、作業中に誤って切断屑の溜場に落ち、右足を負傷した。	74	1	416	1~ 9
95	2015	3	9~ 10	工場内において、製函機のテーブルに貼ってある傷防止テープの交換作業中、製函機を停止せずにステップに乗り、プーリーとベルトの上から手を伸ばしテープを剥がそうとした所、プーリーとベルトに右手上腕が巻き込まれ負傷した。	39	7	169	10 ~ 29

96	2015	3	14～ 15	事業場においてフォークリフトから降りる際、雨で地面が濡れており足を滑らせて右足首の筋を伸ばしてしまった。	34	2	417	10 ～ 29
97	2015	3	13～ 14	作業場内にて、包装済みの大人用オムツをカゴに入れ、次の工程の場所まで運搬をしていた。足元が見えなかった為、不注意にも足元の配線カバーの段差に気付かず躓き転倒してしまった。	43	2	416	500 ～ 999
98	2015	2	14～ 15	帰り道で対向車がセンターラインを越えて、こちら側に向かって来た。あわててブレーキをふんでハンドルを左にきりながら止まったが側面が衝突した。	40	17	231	1～ 9
99	2015	1	9～ 10	工場内の段ボール連切機で段ボールに切り込みを入れる作業中に右手が挟まれる。	37	7	169	10 ～ 29
100	2015	1	10～ 11	工場内、加工機西側に樹脂の固まりが有り、その樹脂を並べ直し、次の作業に向うため、樹脂をまたいだとき左足が排水路（巾20cm、深15cm）にはまり、転倒し左足を負傷してしまった。	39	2	418	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。